

使って納得  
知ってお得

# 並木隆の 使ってみま SHOW!!

今月は  
センサー  
クリーニング  
ツール



vol.03

## VisbleDust VDセンサー クリーニングキットPlus

店頭価格：35,000円前後  
問い合わせ：☎03-3405-6521  
(ボーゲンイメージング)  
<http://www.bogenimaging.jp/>



**撮** 像素子前面に付着するゴミの問題は、デジタル一眼レフの黎明期から指摘され続けてきた。ここ1~2年で、ゴミ除去機構を搭載したデジタル一眼レフが多く登場してきたが、現時点ではゴミ取り機構のないカメラを使用するユーザが多数派だろう。また、ゴミ除去機能を有したカメラであっても、完璧にゴミを除去できるわけではない。やはり日頃からメンテナンスを怠らないことが肝要だ。そこで今回は、ボーゲンイメージングが販売するVisible Dust社製のセンサークリーニングツール「VDセンサークリーニングキットPlus」を紹介しよう。

最大の特徴は、従来のツールにはない手軽さだ。乾燥ゴミを除去するためのツール

ークティックバタフライ 724の先端に備えられたセンサーブラシは、「スーパーチャージファイバー」と呼ばれる特殊な化学繊維素材で作られている。先端部は電動モーターで回転する仕様になっていて、3~5秒ほど回すとブラシに静電気が帯電する。そのため、撮像素子(ローパスフィルター)の表面を軽くなぞるだけで、毛先に触れたゴミがブラシ側に吸着される。ブラシを回転させれば清掃後に再度吸着したゴミが完全に吹き飛ばされ、常にブラシの状態をクリーンに保てるというわけだ。柔らかな繊維であれば撮像素子を傷つける恐れも少ないので、慣れない人でも安心してクリーニングを行える。

なお、ークティックバタフライが吸着できるのは乾燥したゴミのみだが、本セットには湿性ゴミ(粘着タイプや湿ったゴミ)除去用のクリーニングキットが同梱されている。こちらはグリーンスワブと呼ばれるスティック状ツールの先端に、VDustフォーミュラ(油性の汚れ用)、またはセンサ

クリーンリキッド(水性汚れ用+曇り止め効果あり)を3滴ほどたらして、センサー面を一回軽くなぞることでゴミを除去する。両リキッドとも非常に揮発性が高いため、拭きムラはほとんど生じない。スワブはAPS-Cサイズ用に設計された幅16mmタイプと、撮像素子のコーナーをクリーニングする細身タイプの2種類が用意される。

さらに同セットには、ミラーボックス内をクリーニングする棒状のスワブとリキッドがセットになったチャンパークリーニングキットも同梱されている。ミラーボックス?と不思議に思うかもしれないが、実はここにたまったゴミがカメラの内部に入り込んで、撮像素子に付着することも多々あるのだ。実際に一年以上使ったカメラのミラーボックス内を見ると、AFセンサーのところには細かいゴミがたくさん付着していたし、マウントの裏側をクリーニングしてみたところ、スワブの先端が真っ黒になるほど汚れていた。

ブローで吹き飛ばす程度の曖昧なメンテ

ナンスに比べ、手軽にしかも確実にゴミを除去できるVDセンサークリーニングキットPlusは、筆者にとって手放せない存在になりそうだ。なお、ウェットクリーニングは日常的に行う必要はないと思うが、数カ月ごとにきちんと実行しておくことをオススメしたい。

並木隆お勧めポイント <sup>5段階評価</sup>  
★★★★★ 5点

- ・日常的にクリーニングを行える手軽さ。
- ・電動式でブラシ回転してゴミを除去できる。
- ・湿性ゴミをクリーニングするためのセットモデルを用意。
- ・ミラーボックス内のクリーニングにも対応する。

Second Choice!

## ークティックバタフライ SL700

店頭価格 9,800円前後  
まず試してみようと思う向きには、安価なークティックバタフライ SL700をお勧めしたい。ークティックバタフライ 724と比べ、若干サイズが小さいだけで使い勝手に遜色はない。

### 同梱物一覧



乾燥ゴミを除去するークティックバタフライ 724と、湿性ゴミを除去するクリーニングキットがフルセットになったVDセンサークリーニングキットPlus。なお、各製品は単品発売がされており、価格はークティックバタフライ 724が実売15,000円前後、Vdustフォーミュラが5,000円前後、グリーンスワブ(x12)が5,500円前後となっている。



### POINT01 センサーブラシが 電動式で回転する



センサーブラシを回転させることで、付着したゴミを払い落とすと同時にブラシを帯電させる。電源は単4形電池2本だ。



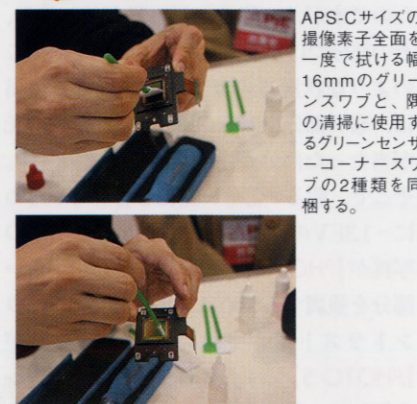
### POINT02 湿性ゴミ除去用の スワブとクリーナー



ブラシでは除去できない湿性・粘着性ゴミ用のスワブと3種類の専用リキッド。リキッドはそれぞれ油性、水性、ミラーボックス用となる。



### POINT03 全体とコーナーに分けた 2種類のスワブを同梱



APS-Cサイズの撮像素子全面を一度で拭ける幅16mmのグリーンスワブと、隅の清掃に使用するグリーンセンサーコーナースワブの2種類を同梱する。



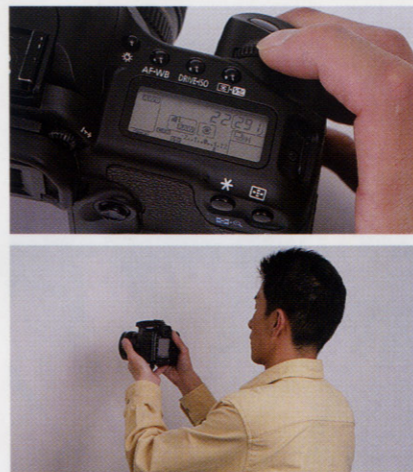
### POINT04 PIE2007会場で 開発者に直撃取材



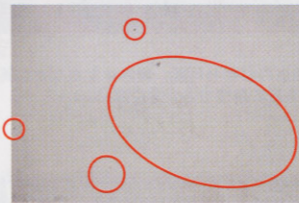
筆者が心配だったのが、リキッド使用時に拭きムラが生じること。フォトイメージングエキスポ(PIE)2007の会場で直接質問すると、VisibleDust社のローラ・ハマドさんは「揮発性が高いので心配ありません」と明快に答えてくれた。

## 使い方ポイントレッスン

### ・ゴミの確認方法



ゴミ確認用に撮ったカット



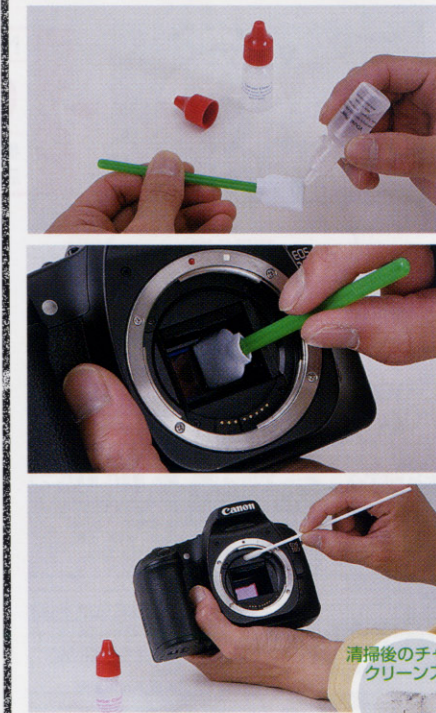
まずはゴミを確認しよう。絞り優先AEでF16~22程度に絞り込み、MFでピントを無限遠にして、白い壁など明るくて色が均一なモノにレンズを向けてシャッターを押せば良い。それでも撮像素子に付着したゴミは黒い点として表れるので心配無用。上の画像はかなりのゴミが付着しているが、クリーニング後にはきれいに除去された。

### ・クリーニング① ~乾性ゴミ~



まずはブラシの先端を3~5秒回転させてゴミを吹き飛ばす。そしてカメラのメニューからクリーニングモードを選択し、シャッターが開いて撮像素子が見える状態になったら、回転を止めたブラシの先端を撮像素子に軽く触れる程度になぞる。再びブラシを回転させて吸着したゴミを払った後に、逆方向にもう一回クリーニング行えば完璧だ。

### ・クリーニング② ~湿性ゴミ~



スワブ先端に3滴ほどリキッドをたらし、軽く触れる程度に先端を一方方向になぞる。取り除いたゴミが再び付着する可能性があるで往復動作は厳禁だ。油性汚れ用のVDustフォーミュラ、水性汚れ用のセンサークリーンリキッドそれぞれを1回ずつ行うのが理想。

清掃後のチャンパー クリーンスワブ